

小学校 第3学年 道徳学習指導案

児童 旭川市立永山小学校
男子18名 女子16名 計34名
授業者 教諭 村川 広志

1 主題・内容項目 2－(3) 信頼・友情

2 主題について「みんなと一緒に」

「友情」とは友だちと互いに理解し合い、信頼しあう感情や人間関係のことである。中学年では、人間関係が広がり、友だちとのかかわりを重視するようになる。反面、仲の良い友だちだけでグループを作ってしまう、固定化された仲間集団となってしまうやすい。そこで新たな友だち関係を築いたり、友だちと互いに理解し合い、友だちを大切にしようしたりすることが重要である。本時では、友だちのことをよく考えて行動することが友だち関係を広げたりさらによいものにつながったりすることに気付かせ、よりよい交友関係を築こうという実践意欲を培いたい。

3 資料名 「卓球は四人まで」(小学校道徳 読み物資料集 文部科学省)

4 資料について

卓球コーナーで4人で遊ぶことになったしゅんが、クラスの中で特別仲が良かったわけではないとおるに「仲間に入れてほしい」と言われるが断る。失敗したと思ったしゅんが誘い直すが、とおるに断られてしまう。その後、友だちと卓球をしても楽しくなく、クラスの友だちを大切にしないといけないうことに気付き、次の日曜日に5人で遊ぶことにすると話し合い実行しようとする話である。しゅんが失敗してしまったと悩み相談する場面を通して、しゅんの気持ちを共有させ、同じクラスの友だちに対する配慮や、よりよい友だち関係を構築することについて自分とのかかわりで考えさせたい。

5 児童について

本学級の児童は、明るく元気で、何事もやってみたいと積極的な姿勢が見られる。また頼まれた仕事だけではなく、係活動などではアイデアを出し合って実行しようとする意欲がある。

人間関係においては、男女の別なく遊んだり話ができたりする児童が多く、学級の中でも男子や女子ということ意識して生活している場面は少ない。しかし、交友関係が固定化されており、特別仲が良いとは言えない学級の友達に対しては、言葉がきつくなったり、仲間に入れないといった態度をとったりする子もいる。そこで、児童には同じ学級の友達のことを理解したり、大切にしたりすることの大切さを考えることで、自分の生活でも同じようにしていこうという心情を深め、実践しようとする態度を育みたい。

6 本時について

(1) ねらい 友達のことを互いによく理解し、友達を大切にしようとする心情を深める。

(2) 本時の展開

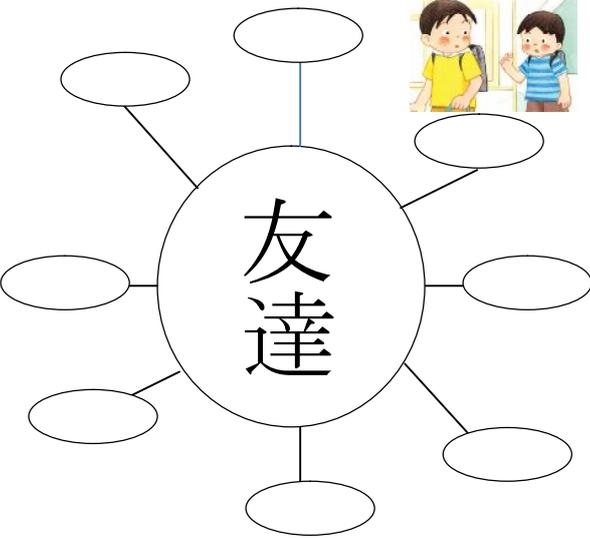
	授業の流れ	目指す子どもの姿	留意点
導入 5分	○休み時間に何をしてきましたか。	・友達と遊んだよ。 ・外に行ってきた。 ・今日は一人でいた。	・休み時間の遊びの状況から「友達と遊んで楽しかった」「友達と遊びたかったけど遊べなかった」こと等想起させる。

展 開 前 段 20 分	○資料を提示する。	○資料「卓球は四人まで」を読み、友情について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ学級の友達に対し、新しい友達も大切にして行動していくことの大切さを改めて感じ、行動していこうという気持ちをもたせたい。
	<発問1>「仲のよい友達3人を誘ったときのしゅんはどんな気持ちだっただろうか。」	<ul style="list-style-type: none"> ・今日は楽しみだな。 ・ずっと楽しみにしていた卓球コーナーで遊べるのがうれしいな。 	
	<発問2>しゅんが、一緒に遊びたいと声をかけてきたとおるの願いを断ったのはどんな気持ちからだろうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・今日は4人で遊びたいな。 ・とおるとは特別仲が良いわけではないし、誘ってほしいと言われても。 ・とおるとはクラスメートというだけだしな… ・自分が勝手に入れたら何か言われるかもな。 	
	<発問3>どんな気持ちでしゅんはおるの方を見ているのだろう。	<ul style="list-style-type: none"> ・さっきは悪いこと言ってしまった。 ・牛乳を運ぶのを手伝ってくれたよな。 	
	<発問4>中心発問『「何とも言えない気持ちになった」ときのしゅんはどんなことを考えただろうか。』		
展 開 後 段 10 分	○ワークシートに記入させる。	○ワークシートに記入する <ul style="list-style-type: none"> ・なんだよ、謝ったというのに。 ・ああ、許してくれないくらいのことを言ってしまったのかな。 ・せっかく入れて許してもらおうと思ったのに。 ・とおるのが気になる。 ・入れてあげたほうが良いと思って声かけたのに、どうしたらいいかな。 ・最初から入れてあげたら良かったな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の発言から価値を一般化させていく。 補) こうして考えた結果どうしましたか？ 5人で遊ぼう→みんなで遊んだ方がいい。
	<発問5>そんな気持ちだったけど、最後はどうしましたか？	<ul style="list-style-type: none"> ・謝って誘ってあげた。 ・仲良くないけど、遊べば仲良くなれるかも。 	
	友達のことを考えて、行動することが大切だ。		
	○友達のことを考えて行動した経験を振り返り、誰とでも仲良くしていくために大切なことを発表しあう。	○友達のことを考えて行動できたことについて交流する。	
<発問5>「友達のことを考えて行動できたことはありますか？ また、しようと思ってできなかったことでもいいです。」			
○友達のことを考えて行動した経験などを交流させる。(流れを大切にするためにワークシートには記入しないで交流させる)	○自分を振り返り、行動できたことや行動しなかったことを交流する。 <ul style="list-style-type: none"> ・一人で寂しそうにしていたから誘ってあげた。 ・遊びに入れてあげたいと思ったけどできなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・(できなかったことに目を向けるのではなく、そのようにがんばろうとした気持ちを褒める。) 	
今後も友達を大切にして行動していきたい。			

<p>終 末 5 分</p>	<p>○教師の説話を話す。 (最後に、次の日に校門の前で、どきどきしながら待っている4人の姿にふれ、そんな風にできる友だちっていいよね。そんなクラスっていいよね) ○今日の時間で感じたことや、今後どうしていきたいかをワークシートに記入させる。</p>	<p>○教師の説話を聞き、自分も友達を大切にしているという意欲を深める。 ○今日の時間で思ったことをワークシートに記入する。</p>	
----------------------------	---	--	--

7 板書計画

◎友だちのことを考えて、行動することが大切!!



○「何とも言えない気持ちになった」
しゅんはどんなことを考えただろう。

とおるのねがいのことわったのは…

- ・今日は四人で遊ぶんだ。
- ・友だちと決めたからしようがない。
- ・とおるとそんなに仲がよくないな。

たつきゆうは四人まで

しゅん

友だちをさそって…

- ・今日は楽しみだな。
- ・卓球コーナーで遊べるぞ!